

平成20年 6月24日
国土交通省中部地方整備局

お 知 ら せ

1. 件 名 ～ 平成20年岩手・宮城内陸地震に関する
緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の派遣について（第4報） ～

2. 概 要

平成20年 6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震に対する中部地方整備局被災状況調査班は全ての点検箇所の手続きを終えて20日に帰還致しました。

今回、中部の支援チームは、延べ24名が参加し、岩手県奥州市、宮城県栗原市等の震度6強、6弱及び5強の地域で、がけ崩れ、土石流、地滑り等の発生が予想される約1,700箇所（全体）のうち約240箇所の危険箇所を担当致しました。

3. 資 料 別紙のとおり

4. 配 布 先 中部地方整備局記者クラブ

5. 問合せ先 国土交通省中部地方整備局

企画部 防災対策官 金藤 康昭

防災課長 小倉 親

電話番号 052-953-8357（防災課代表）

※Technical Emergency Control Force

「土砂災害対策緊急支援チーム」活動結果報告

支援チーム本部作成

平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震により岩手県、宮城県内各地でがけ崩れ等の土砂災害が発生し、被害が生じたことをふまえ、土砂災害危険箇所等の緊急点検を6月15日より19日まで5日間にわたり実施しました。

点検にあたっては、約130人(約30班)の体制で、震度6強・6弱・5強を観測した岩手県5市町、宮城県6市町における土砂災害危険箇所について約1,700箇所の調査を実施しました。

- ・点検期間 :平成20年6月15日から19日
- ・現地本部 :東北地方整備局 岩手河川国道事務所一関出張所
- ・点検範囲 :岩手県奥州市、一関市、宮城県栗原市等の震度6強、6弱及び5強の地域で、がけ崩れ、土石流、地すべり等の発生が予想される約1,700箇所を実施。

- ・支援チーム:下記の機関により延べ約150班、約670名で編成 ※670名には、車両管理員を含む
国土交通省—TEC—FORCEで参加(延べ約310名)
(本省砂防部砂防計画課、北海道開発局、東北地方整備局、関東地方整備局、北陸地方整備局、中部地方整備局、国土技術政策総合研究所)
県(延べ約240名)
(青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、新潟県)
(財)砂防・地すべり技術センター(延べ約30名)

- ・点検結果:
土砂災害危険箇所約1,700箇所を点検。Aランク(応急対応が必要)と判断された20箇所について、岩手県、宮城県、並びに関係市に連絡。県・市は応急対策を実施。



点検で危険度Aと判定された箇所
(宮城県旧花山村)



点検で危険度Aと判定された箇所
(宮城県旧鳴子町)



国土交通大臣激励



宮城県旧一迫町での点検状況



岩手県旧衣川村での点検状況



宮城県旧迫町での点検状況

資料提供:東北地方整備局